

研究名：

日本における小児重症患者に対する早期リハビリテーションの実態調査

1. 研究の目的

成人患者に対する早期リハビリテーションの安全性とその効果は明らかになっており、集中治療室から始めるリハビリテーションが定着してきていますが、小児患者においてはその実態はわかっておりません。今回、この研究では、日本の集中治療室に入室している重症小児患者における早期リハビリテーションの実態（実施率、リハビリテーション内容、阻害因子）を明らかにして、今後のリハビリテーションにつなげることを目的にしています。

2. 研究の方法

多施設共同で、後方視的に調査を行います。2025年2月13日から3月31日のうち指定された1日（日程は2025年9月以降に発表されます）に各施設のICUに入院していた0～15歳までの小児患者さまが調査対象です。

研究期間は、倫理委員会承認後から2027年3月31日までを予定しています。研究終了日から5年後（2032年3月）にはすべてのデータを消去します。

3. 研究に用いられる試料・情報

診療で得られた試料・情報を使用します。

（年齢、性別、入院前の身体機能、ICU滞在期間、リハビリテーションの有無・内容など）

4. 個人情報の取り扱い

データはすべて匿名化されるため、患者さまの個人情報が公表されることはありません。研究結果は、学会発表ならびに学術雑誌に投稿する予定ですが、本人を特定できる個人情報を公表することはありません。

5. 研究実施機関およびお問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【当院における研究責任者】

群馬県立小児医療センター リハビリテーション課

熊丸 めぐみ（くままる めぐみ）

住所：群馬県渋川市北橘町下箱田 779 番地

電話：0279-52-3551

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者（情報の管理責任者）】

日本医療大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法専攻

宮城島 沙織（みやぎしま さおり）